Kadokawa Comics A
ロードス島戦記
—英雄騎士伝—
RECORD OF LODOSS WAR
2
原作◆水野 良 作画◆夏元雅人

ISBN4-04-713226-8

C0979 ¥540E

定価:本体540円(税別) 角川書店

ロードス島戦記
—英雄騎士伝—
2
RECORD OF LODOSS WAR

原作◆水野 良 作画◆夏元雅人
RYO MIZUNO & MASATO NATSUMOTO

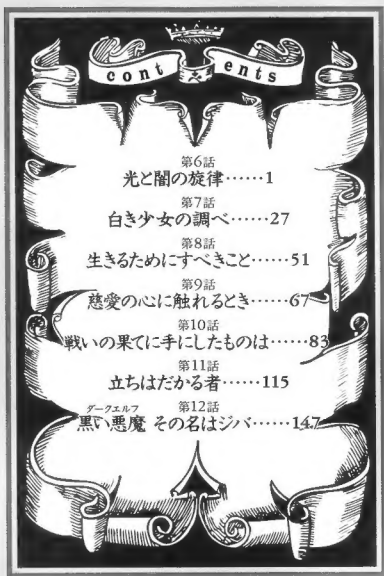
RECORD OF LODOSS WAR
2
RYO MIZUNO & MASATO NATSUMOTO

ああ…
ん？
どうしたの
パーン？
考えごと？
あの若者……
どうしてるかな
……

…………
どうしました陛下？
いや……
ふと奴のことを考えておったわい

ロードス島戦記
—英雄騎士伝—

RECORD OF 2 LODOSS WAR

cont ents

原作◆水野 良 作画◆夏元雅人

RYO MIZUNO & MASATO NATSUMOTO

—あらすじ—

アレクラスト大陸の南に位置する呪われた島「ロードス」。フレイム国の見習い騎士で炎の部族の直系・スパークは宴の夜に賊のダークエルフを発見。手柄を焦るスパークは罠にはまり、宝物〝魂の水晶球〟を盗まれてしまう。賊討伐の命を受けたスパークは追跡隊を結成し、賊を追う旅にでたがその途中、自分たちと同じく賊を追う謎の聖少女の噂を耳にする——。

第6話 光と闇の旋律
全能なる戦の神マイリーよ
この者の傷を癒したまえ
すみま…せん…司祭様
しゃべらずともよい
……
……
ふっ

生き残った兵の
話からも まだ
賊はそう遠くへは
行っておらぬようだ
?
聞いて
いるのか!?
スパーク!!

え？
あっ…すみません
考えごとを……
ゴォ
カシュー王の
アラニア出陣の
ことか……
……

兵には兵の
おまえさんには
おまえさんの
与えられた
任務が……
しかし!!
司祭も
戦の神官なら
わかるでしょう!?
ついにマーモとの
戦が始まったん
ですよ!!
スパーク殿は
そんなに戦に
参加したいの
ですか?
ダークエルフを
追うことも　また
マーモとの戦いでは
ないのですか?

確かに……
確かにそうだが……

戦で活躍して早く騎士として認められたい…

ドキ

おまえさん少し あせり過ぎてはいないか?

そうかもしれません……

ギャキ
まずは賊から
奪われた宝物を
取り返しましょう
司祭!!
賊の足どりは
つかめましたか?
今ギャラック達が
まわりを捜して
おるが
おそらく
奴らは南下
したはずだ

もォーー
何なのよ あいつは!!
リーフ
どうした? ギャラック達と いっしょでは なかったのか?
どーしたも こーしたも 追い返されたのよ ギャラックに!!
ライナに 傭兵の規則を 教えるんだとか 言ってさ……
あいつ うまいこと言って ライナに手を出す 気なんだわ!!
?
はあ

待てよ
ライナ

用件は
わかってるな？

何のことよ？

おまえ盗賊だろ？
それもギルドの!!
やっぱりバレてたんだ…
オレは傭兵暮らしが長いんだ
盗賊にだって知り合いもいる
雰囲気で十分わかるぜ
で？
どうするの？
盗賊だからってまだ何も盗んじゃいないわよ
それなのに斬首にでもするっていうの？

オレが知りたいのはおまえの目的だ
…… ……

何度も言ってるでしょ仲間の復讐よ
他に目的なんてないわ

盗賊仲間のか？

そうよ!!
あなたがた
傭兵と同じ

わたし達だって
はみ出し者!!
仲間意識は
強いのよ!!

ふうむ

まあ……

それはそうかも
しれないが……

そろそろ
出発しよう
賊をなんとしても
フレイム領内で
捕らえたい

あたし
ギャラック達を
呼んでくる

も——
あいつめ!!

タッ

ヒルト太守に
借りたこの馬を
有効に使えれば……
……
!!?
バカな
……
どうしました?
司祭
そんな……
いや
しかし……

何です？遠すぎてよく……

間違いない……

奴らだ!!

ダ……

ダークエルフ!?

奴らまだこんな近くにいたのか!!
はっ!!
はやるなスパーク!!
奴らに気づかれているかもしれんぞ!!
仲間を待ってから追った方が得策だ!!

ダークエルフより
ドワーフの方が
鼻が良いと聞きます
おそらく まだ
気づかれては
いないはず!!
ならばオレが
奇襲をかけて
奴らの足止めを
します
みんなは後から
追って来てください!!
城での借りを
返してやる!!
ど……
どうします?
行くしか
あるまい!!

ドドドド
ドドドド
ドド
ズッ
早くこの任務を
終わらせて
カシュー王の下で
戦うんだ!!

な…
何者だ!?
なぜ邪魔を!!
奴らの仲間か!?
行っては
いけません
彼らは追っ手を
待ちぶせて
いるのです
あっ……
……

聖女……!?
君は…いったい……
も────
どこへ行ったのよ
あのバカは!!

あんな所に…
ギャラッ…
ゾク…
ん？リーフじゃねえか
だめ!!逃げてっ
奴らがっ

ああん？
何言ってんだ
ダーク
エルフがっ!?
エ？
スッ

ニタァ…
ピッ

フレイム国境・南端
ザッ
君はいったい……

はっ
はっ
はっ
どうしましたスパーク!?
あ　いや　それが……
!?
ニ……ニース様!?

第7話
白き少女の調べ

どうして
ここに……
知り合い
なのか？
アルド・ノーバ
まさか
……
そんな
……
何言ってるんだ!?
誰なんだ？
アルド!!
あ
こ……
この方は
宮廷魔術師・
スレイン導師の
ご息女
ニース様です

ニース……って
六英雄の……
マーファの大司祭
ニースは 私の
祖母にあたります
名は祖母から
いただいた
そうです
ザワ
なぜ
こんな所に!?
『神に
導かれる
まま……
黒い悪魔を
追って』
ここに来ました

この!!
ライナ!!
ぬう…
また消えやがって!!

やばいよ!!
早く司祭の所へ連れて行かなくちゃ!!
わかってる!!
だがまた襲って来るぞ!!
おまえはまわりを見てろ!!
おいライナしっかりしろ!!
手のひらで傷を押さえてるんだ!!
止血になる!!
う…うん…
ぬうっ!!!

奴ら術中は動きがにぶくなってる

いっきにかけぬけるぞ!!

ここから西の林をぬけた所に仲間が待ってるわ

行くぞ!!

くっ

ふりかえるな!! リーフ

では奴らが逆に 待ちぶせしていると いうのですか?

おそらく……

それにしては静かすぎませんか………

この草原の中では奴らの「姿隠し」もだいたいの位置がわかってしまう

だから我々が草原をぬけた所をいっきに襲うつもりなのだろう

あ……なるほど

たしかに足あとがまるみえですね

ここからうかつに出るわけにはいかないですね……

――としたら追いつめられたのは

我々なのですか!?

奴ら
ここから
いぶり出す
気だ!!

我がマナをもって
相対する力を受け…
―ディスペル―
滅っせよ!!
ゴォオオオオオ
火のまわりが早い!!
だ…だめだぁ
退路を断たれたぞ!
どうするスパーク!?

どう
乗ってください!!
全能なる大地母神マーファよ
我らが直面する困難に・・・
このままではキリがない!進みましょう!
ぐっ

ドッ
はっ!!

グリーバス司祭!!
スパーク!!
ズザ
ザザッ
なんてこった……
誰もいねェ……

どこだ?
どこかに
いるはずだ
アルドは
彼女を守って
いてくれ
はい
スパーク!!

ニヤ
あからさまに誘っているんだ落ちつけ!!
わかってます……
でも行くしかないでしょ!!

まて!!
ダッ
うおっ
ズギ
ズギ
ス…

戦の神
マイリーよ
我が願いを聞き
その源たる力をしめせ
それは我が手
我が斧に宿り
——力をはなて!!

すごい!!
見えてたんですか!?
奴らの姿が!!

見えるわけ
ないだろう

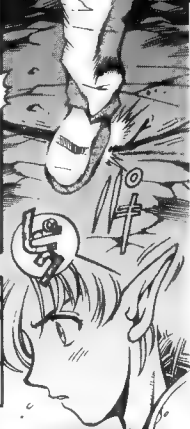
え?

呪文で
動きを止めた
所を 襲うと
思ってな……
左右
どちらから
襲うかは
勘で決めた
がな……

タラ…
タラ…

ぬぬう~

とりあえずはダークエルフ一人……
と言いたいが万事休す　だな
敵の数すらはっきりしない
く……
チャキ
ギャラック達を置いて来たのは痛いな……
どこ行っちまったんだよスパーク達は!!
……

左!!
パキ
ピシ
ふん
くそ!!
リーフは岩を背にしてろ!!
チィ…はずしたか!!
ちょっと何するつもり? 危険よギャラック

どいてください
アルド・ノーバ
キッ
私がなぜ　ここへ
来ているのか
あなたなら
わかっているの
でしょ？
だ……
だめです
あなたが危険に
さらされる理由が
どこにあるの
ですか？
邪神復活
世界の滅亡
……
少なからず
私はその一端を
担う存在だから
です
そんな……
あなたはまだ
十三の少女
なのですよ……

それが私の運命と受け入れました
ならばこそ止めないでください
くう……
……
いやに……静かですね……
キ
キリッ
キリッ

第8話 生きるためにすべきこと

ダークエルフ達も盗んだ祭器の本当の恐ろしさを知れば私の言葉に耳をかすはずです!!
行かせてくださいアルト・ノーバ
ダメです!!
ニース様を危険な目にあわす訳にはまいりません!!

ダークエルフを一人倒したままではいい……
だが この後は どう戦う!? スパーク
正面から突っ込むしかないです!!
ふうっ 姿を消したダークエルフに対して正面からか……
おまえさんらしいが……
それで奴らを倒せるのか?
?
いや そんなことで ワ・シ・ら・は生き残れるのか?
ドキッ

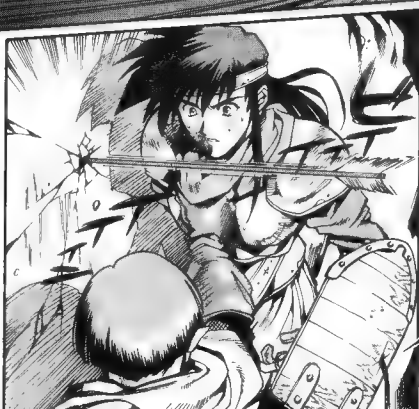
スパーク!?
!?
弓!?
そんなことで
ワシらは
生き残れるのか?

はあ
はあ
はあ
!
スパーク
聞いているのか!?
スパーク!!

ワシの呪文で
奴らの敵意の
方向を知る
ことはできる
ただ呪文に
集中する時間を
稼ぐことが
必要なのだ
チカッ

く……

カシュー王や自由騎士パーンなら気配だけを頼りに戦えるそうです!!

オレにだって一太刀ぐらい……

はい
グリーバス司祭は呪文を唱えていてください
その間はオレが盾になってます
ダッ
スパーク……
安心してください
少しわかったような気がします
オレには信頼できる仲間がいるってことが……

どうするつもりよ
ギャラック!?
ダークエルフは
まだいるのよ!!
静かにしてろ!!
はやく司祭にライナの傷を看てもらわねェと.
くそ……

くう

せっかく
捕まえたんだ
離しゃしねェよ
やーっと
ツ・ラ・みせ
やがったぜ!
ニカッ
なんて奴・
あいつ……
自分を
囮にして……

あ──
イテェ……

くそ──っ!!
ライナがやべーんだ!!!
グリーバス司祭の治療が必要なんだよ

どこにいんだよスパークよぉ

自分の心配をしてなよ……
バカ……

見えた……

体……

体……

体……

まずいっ!!

キュ
スパーク!!
はい!?
違う!! よけろ よけるんだ
エ!?

スパーク!!
第9話 慈愛の心に触れるとき

はあ
はぁ
はあ

?

カチャ

なんだ?
どうしたんだ??

アルド・ノーバが
オレに魔法壁を!!

ビクッ

気をつけろスパーク!!
大丈夫ですよ さっきの見たでしょ

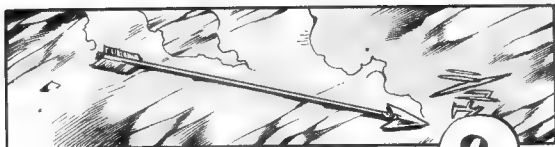
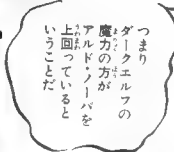
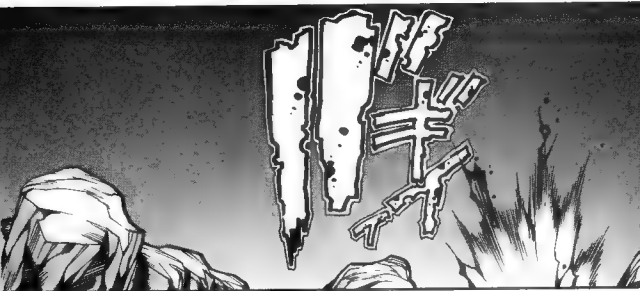
次の矢は違うぞ!!
エ？

魔法の矢だ……

魔法のぶつかり合いは術者の力量で優劣が決まる
つまりダークエルフの魔力の方がアルド・ノーバを上回っているということだ

!!!

そんな…!

散れ!!
え?
ここには3人のダークエルフしかいない!!
弓の奴以外の姿を消している奴らを倒す
おまえさんは左の岩の手前にいる奴を!!
ワシは右の奴をやる!!
はいっ!!
おおおおお

手応えがない……
逃げられている!!
どこにいる?
あっ!!

わたしの魔法では
これが……
限界です!!
そんなこと
ないわ!!
自信を持って!!
大地母神
マーファの力を
信じなさい

まずいっ
慈愛の女神
マーファよ
その崇高なる
手を差し伸べ

この者の心のカセを
解き放したまえ
それは力となりて
この者の願いを
叶えるでしょう

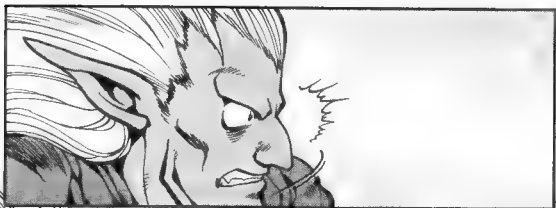
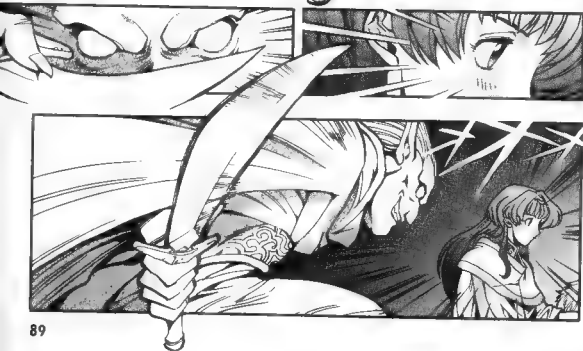
なんと……
そうか スレイン導師の御息女は 六英雄ニースの孫娘……
慈愛の女神 大地母神マーファの 生まれ変わりとまで いわれた彼女の血を
色濃く受け継いでいるということか

第10話
戦いの果てに手にしたものは

ぐ……

ズッ

これで
二体目!!
残るは

アルド・ノーバの魔法壁があるかぎり
ムダだ!!

ギッ
コク…
ザッ

精神が乱れ
術に集中
できなく
なったか？
姿が
丸見えだ

……
はああ

ムダな
抵抗は
やめるんだ
チャキッ

勝った!!
これですべてに決着がついたんだ

どういう
意味だ!?
答える
必要はない
マヌケめ……
キサマ
──!!
呪文を
唱えるのを
やめろ!!

シュウウウウ…
ボッ

ボウッ
!!?
スパーク大丈夫か!?
タッタッ
ブス
ブス
自決したのか?
そのようですね……

ダメだ……
こいつも持っていない
こっちにもありません

あいつら
どこ行って
たんだ？
この大事な
時にいなくて
ん？
…………
様子が
おかしいぞ
はやく
……
はやく!!
はやく
来て!!
ライナが……
ギャラックがぁ!!

よお……
待ってたぜェ……
ライナを
看てやって
くれよ……
わかっとる
静かに
してろ!!
なぁ もう
手遅れなんて
言わねェよな
大丈夫だよな

安心しろ
なんとかする!!
へへ……
ありがてえ
………
たのんだ……
せ……
ギャラック!!
司祭!!
そいつは大丈夫だ
致命傷ではない!!
問題なのは
ライナだ……
キズは深いし
出血もひどすぎる
ワンでは
万が一かも
しれぬ……

……
さしでがましいのですが
私にやらせていただけませんか？
……………
いやワシからもお願いします
六英雄ニースの孫娘の彼女なら……
あるいは神の奇跡を起こせるかもしれん……

…………
スパーク

どうだ？

ないです！

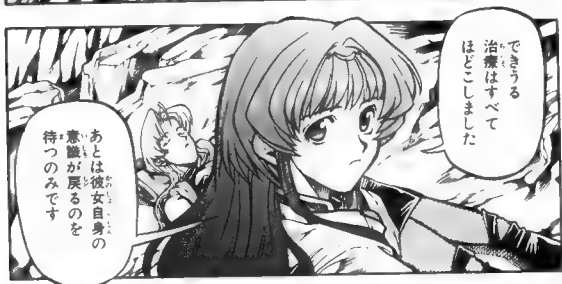
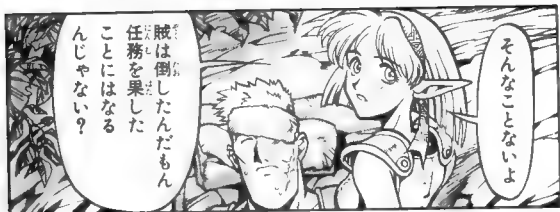
どうしてだ⁉
こいつも
魂の水晶球を
持ってないと
するといったい
誰が持ち去った
っていうんだ⁉

賊を討ち
取っても
宝物を取り返せ
なければ 意味が
ないじゃないか‼

そんなことないよ
賊は倒したんだもん
任務を果した
ことにはなる
んじゃない？

できうる
治療はすべて
ほどこしました
あとは彼女自身の
意識が戻るのを
待つのみです

私としては　なんとしてでも
宝物を取り戻すことを…
しかし情報が
なければ
我々も
動きようが
ないぞ
…………

わかった!!
ザッ
とりあえずは
ヒルトに戻り
態勢を整える!!

FLAIM
ALANIA
HIRUTO
VALIS
KANON
MARMO
ご苦労だったスパーク
賊討伐の任務を無事なしとげカシュー王もさぞ喜ばれるだろう!
しかしまだ宝物を取り返せていませんので引き続き……
いや!! この時点でまだ宝物を取り返せぬ場合
お前には新たな任務が与えられるだろう
は?

実は
カシュー王から
二通の親書を
預かっていてな

一通は宝物奪回に
失敗したときに
お前に与えられる
任務がしるされて
いる

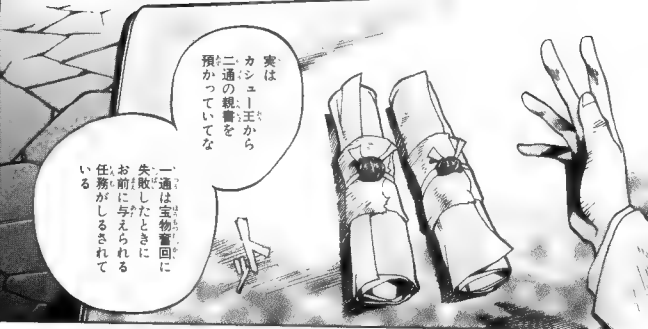
黄金の砂亭

まだ
休んでなきゃ
ダメだよ!!

オレは
大丈夫だ
それより
ライナはまだ
意識が回復しねェのかよ

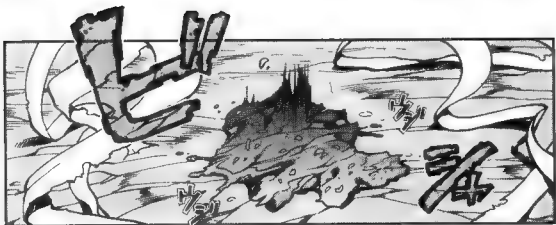
く…
ライナ……

ふーん
〝蒼く流れる星〟ギャラックが女に惚れたか
うるせェ
舌を引っこ抜くぞ

待ってください
ニース様
考え直してください

“魂の水晶球”を見失った今
魔導師バグナードの
凶行を阻止するためにも
私は行かなくてはならないのです
神聖ヴァリス王国へ!
ヴァリス国境・北の砦
VALIS
止まれ!!
ここから先はヴァリス領だ!!
許可なく通すわけにはいかん

ふむ
通行証はホンモノだが
フレイムの商人が戦時下にヴァリスへ何用だ？
ん？
へへっ
そりゃなんだって商売になりますぜ
オイそこの小さいの!!
お前だ!!
こいつはわたしの弟でしてけっしてあやしい者では……
へへっ
お前に聞いているのではないボウズ
年はいくつだ？
その包帯はなんだ
…………

年は14……
名前はジバ
戦争で焼けちゃった僕の顔を見る？
ペラ……
バッ
体はもっとすごいよ
うげっ!!
も……もういいさっさと行け!!

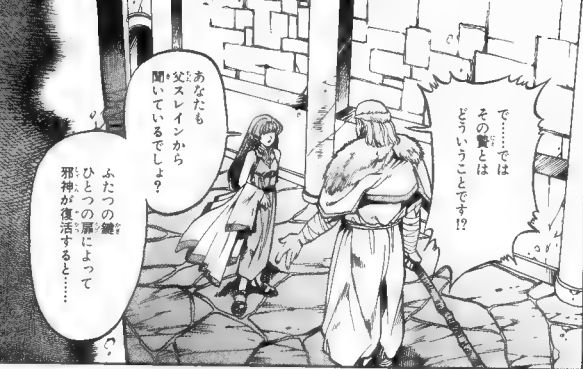
野ねずみの皮一枚で上手くいきましたね
ジバ様
お前らはコレを持ってヴァリス港から船でマーモへ向え
マーモ兵とは悟られぬように慎重に行動しろ

しかし
ジバ様は!?
オレはこの
ヴァリスに
もう一仕事
残ってる
カシュー王からの
厳命だ!!
心して聞け
はっ
「騎士見習い
スパークに命じる!!
もう一通の親書を
ヴァリスのエト王へ
早急に届ける任を
与える!!」

ヴァリスへの使いですか?
では 奪われた宝物は……
これは王の勅命だぞスパーク!!
……
わかりました!! 騎士見習いスパーク!!
ただちにヴァリスへ向います

ここは……？
—— さむい……

第11話　立ちはだかる者

来るのだ……
贄よ……
だめ……
だめよ!!

悪夢はいつも
そこで終わり
目覚めるのてす

で……では
その贄とは
どういうことです!?

あなたも
父スレインから
聞いているでしょ？

ふたつの鍵
ひとつの扉によって
邪神が復活すると……

ふたつの鍵とは
盗まれた魂の水晶球と
あとヴァリスにある
生命の杖――……

では
扉とは？

ひとつの扉とは
邪神を降臨させる
ための生け贄……

そして
黒の導師が
選んだ生け贄とは
……

まさか？

そんなっ!!

ふたつの鍵
ひとつの扉
かくして
邪神は蘇らん

ニース様!!

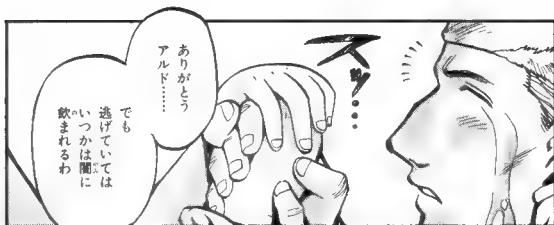
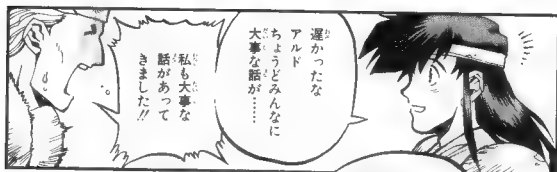
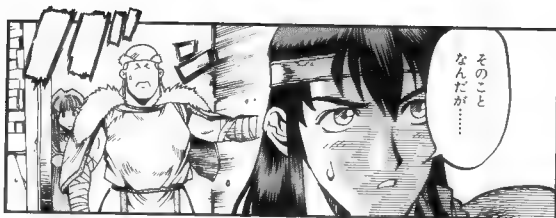
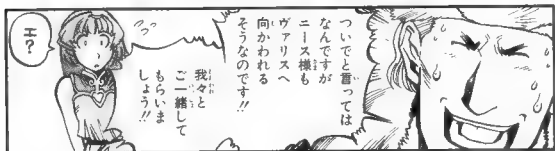
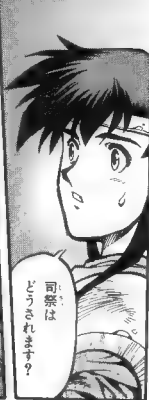
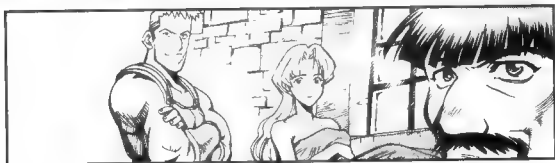
その夢はただの夢じゃない!!
おそらく黒の導師の召喚魔法です!!

そうです
今からでも遅くない!!
マーファの神殿に戻りましょう!!

スッ……
ありがとう アルド……
でも 逃げていては いつかは闇に 飲まれるわ
ならばこそ 私は この 呪われた運命と 戦うために ここへ来たのよ
それに 神のご加護は どこにいても 受けているわ
ホラ…… あなたがこうして 私を守ろうと してくれていることこそ 神のお導きではなくて?

では　これから
どうなさる
おつもりです?
鍵のひとつ
魂の水晶球は
完全に奪われて
しまった
だから　あとは
ヴァリスにある
生命の杖を
守るのみよ
わかりました!!
ちょっと
来てください!!
どこへです?
私も決意
しました!!

ライナさんの意識は
まだ戻らないいん
ですか？
ニースの治癒は
完璧だ
あとは彼女の
意志力に
かかっている
ところで大将
どうだったんスか？
太守との話は？

ババ
ミ
そのこと
なんだが……
遅かったな
アルド
ちょうどみんなに
大事な話が……
私も大事な
話があって
きました!!
!?
突然ですが
私はここから皆さんと
別行動をとることを
お許しください!!
どういう
ことだよ
そりゃ?
いや……
オレの話も
そのことなんだ
まあ
聞いてくれ
……

オレたちは
宝物奪還の
任務を解かれた
カシュー王からは
新たに親書を
届ける任務を
与えられたんだ

戦時下とはいえ
たかだか親書を
届けるだけの任務だ
魔法使いや司祭を
同行させるほどの
ことじゃない

わっ!!

前言撤回して いいですか!? 私もヴァリスへ 同行します!!

ああっ!! 本当に神の ご加護って あるんですね!!

はあ?

いいですよねっ!! ニース様

そっ…… そりゃあ 彼女さえ よければ……

は……はいっ

司祭はどうされます?
ワシはお前さんを気に入ったからここにいるのだ
どこへでも同行しよう
私もこんな所で仲間外れはいやよ
ライナさん!!
もちろん連れていってくれるんでしょ?スパーク……
もう体は大丈夫.
ムッ。

みんな……

わかった!!
旅の準備をしてくれ!!
すぐにヴァリスへ出発だ!!

そうと決まればオレたちは食糧を集めてきますよ!!

ではワシは鍛冶場へ行って皆の武具の手入れをしてこよう
私は旅の情報をなにか集めてきます
…………

開門!!

ゴゴ
ゴウン

これからのことは
これから決めればいい

今は先へ
進もう!!
行き先は──
ヴァリス!!

ザシュ
ポタ
ポタ
兵に よく休むように伝えろ
明日はもっと激戦になるだろうからな!!
はっ
陛下もお休みください
私はいい!
返り血だけ流してくれ……

陛下!!

ギラ…

ホウ

そうか
ヴァリスへ
向かったか……

清めの水で
ございます

フッ
スハークよ
己がなすべき道を
見極めることが
できるか?

信じるは己の眼
それは時流を読む
騎士としての力量だ
己が道を見つけ
進むがよい
スパーク

見えたぜ大将!!
ああっ

バサッ

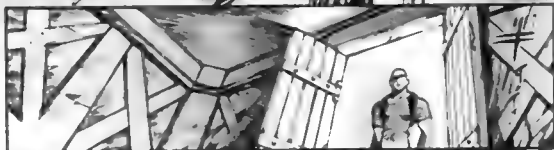
VALIS
Loido
到着しました
ハ様
三日も待たせたんだ
首尾は万全だろうな

船は商船を装って港へ停泊しています
いつでもマーモへ出航できますよ
よぉーーし
舞踏会の始まりだ
この街を炎の宴で酔わせてやる

ドクッ
……
?
どうしたんてす?
さぁ行きましょう

第12話 黒い悪魔 その名はジバ

戦時下とはいえいやに厳重な取り調べですね

マーモの者などをこのロイドへは入れぬのが我々の任務であります

緑が豊かで美しい国だ……
砂漠で育ったオレにとってはまさに楽園だな

わぁ
みてみて!!
おっきい城!!

あれが
神官王エトの
聖王宮……

フレイムの使者の方々は
王との謁見までここで
お待ちください

賊は盗んだはずのそれを持ってはいなかった つまり盗んですぐ別の仲間に渡してたンですよ だからあそこまで派手に逃げ回ってたんでしょうね

としたら盗品はどうなったのか? 戦場を通ってカノンへ渡るのは危険だからヴァリスへ向かうでしょうね

ここロイドには大きな港があります 商船を装ったマーモの船が仲間を拾ってマーモへ出航

運び屋が人間だったら誰にも疑われずに堂々と盗品を運びだせるってわけですよ

FLAI
VALIS
ALLANIA
MOSS
Loido
KANON
MARMO
N
W
E
S

盗賊がよく使う手口らしいっスよ
詳しいんだな まるで盗賊だったみたいな口振りじゃないか
なっ… なに言ってんスか!! きいただけスよ
……
お願い 私が盗賊だってことは黙ってて欲しいの
そりゃそうだ バレりゃ その場で斬首だもんな
首なんていくらでもあげるわ!!
私は仲間の仇を討ちたいのよ!! この手で!!

結局……ダークエルフには太刀も入れられなかった
ランティの仇を討てなかった
私これからどうしたらいいんだろう？
……
あれ？
アルド・ノーバはどこへ行った？それにニースもだ

生命の杖は
このファリス神殿に
あるのですね
まだ無事の
ようですね
これは
これは
大地母神
マーファの
司祭が
お越しに
なられるとは

キィィン

しかしなにゆえ生命の杖の安否など・・・

あ

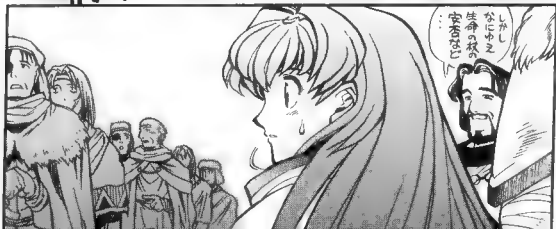
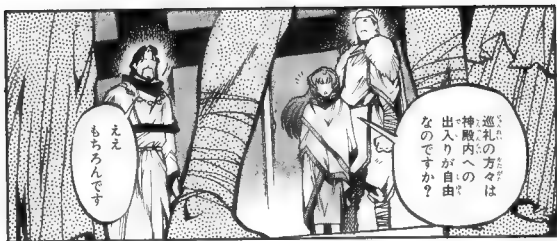
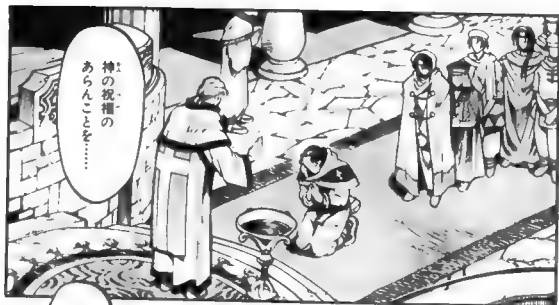
ニース様なにかあったのですか!?

わかりません

ですが嫌な予感がするのです!!

神の祝福のあらんことを……
さあ次の方……
!!
キャ

ぐ
あ゙ぁ

あれは……
ダ……ダークエルフ
ふん！手緩い警護だ!!

タタタッ
ザッ
止まれ!!
ここから先へは許可なくして通すことはできぬ
ダークエルフ!?

至高神ファリスの
名の下に
法と秩序を
破りし者へ
あが
戒めの力を!!

く……
どうだ動けまい愚かな侵入者よ
ぬ……
我ら神官戦士団を甘く見たな!!

!!?
ガシャ
巡礼者の門より
賊が侵入!!
神官戦士団の
威信にかけて
神殿奥へは
進ませるな!!
ガシャ
おおぅ

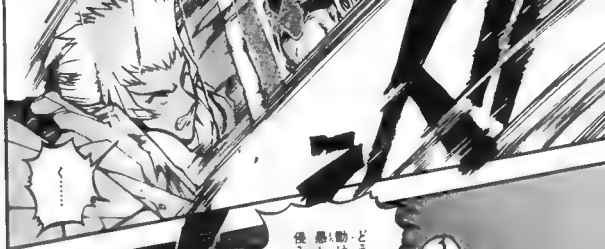
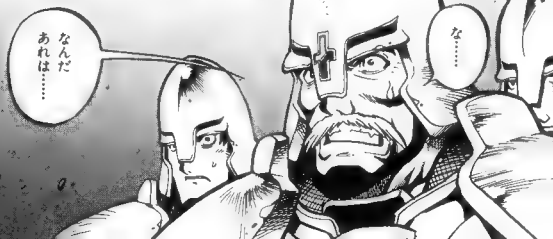
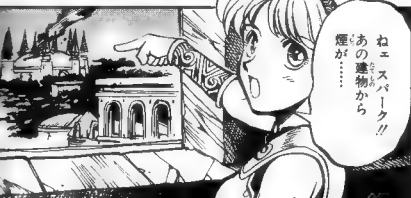
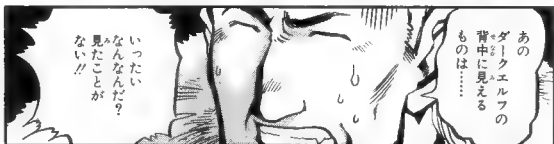
いたぞ!!
な……
なんだ
あれは……

ボコ
ボコ
皆殺しにしろ
竜牙兵!!

ズ
やっとか……
ん?
ズ

ねェ スパーク!!
あの建物から
煙が……

ファリス神殿にマーモ兵が現われました
賊は一人!!
ダークエルフです!!
ダ……
ダークエルフだって!?
ダークエルフ…!?
ガタ

ははははははハハハハ
くくく、

STAFF
N.NATSUMI
MATSUNAE URARA
TSUTIYA NOBUHITO
EDITOR
Y.MORIYA
Y.NONOGUCHI
H.KAI
『ロードス島戦記』あとがき編
原作小説をまだ読んでいない人はぜひ読んでね!!
ロードス島戦記
というのもこのシバによって漫画の展開が
原作と少しずつかわってゆくのが楽しめるからです
こう御期待!!
to be NEXT...

（ロードスへの道）

『ロードスへの道』特別編集版

今回の「ロードスへの道」は、ロードス島の現在の情勢やスパークたちの使っている武器などについて解説しているよ！ 1巻の記事と合わせて読んで、君も「ロードス通」になろう！

＊これは、雑誌連載時の記事を特別に編集したものです。

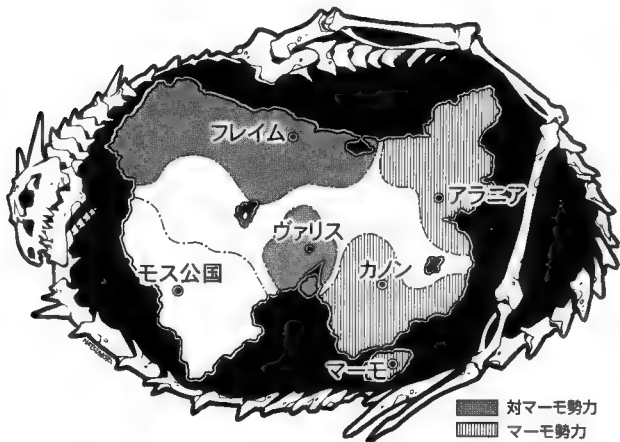
イラスト／夏元雅人

ロードス島の現在の情勢

（ロードスへの道）

マーモ軍の侵攻により、ロードスは、いま英雄戦争以来、かつてないほど混乱している。現在のロードスの情勢がどうなっているのか、勢力図を基に解説しよう。

フレイム
アラニア
ヴァリス
カノン
モス公国
マーモ

対マーモ勢力
マーモ勢力

現在のロードスは、大きく分けて3つの勢力に分かれている。1つはマーモ、アラニア、カノンの同盟軍。もう1つはヴァリス、フレイムの連合軍。そして最後に、自国の内乱のために中立を保っているモス公国である。

同盟軍は、最初マーモとカノンだけだったが、アラニアのラスター公爵が敵対していたアモスン伯爵を謀殺、さらにマーモと同盟を結んだため、ロードスの平和を脅かす一大勢力となった。

この同盟軍の動きに対して、フレイム、ヴァリスの両国は、徹底抗戦の構えを見せる。まず、フレイム国王カシューが、アラニアの内乱を収拾するため、ラスター公爵を討つべく、自ら軍を率いてアラニアへ出兵。ここに、ロードス中を巻き込む大戦の火ぶたが切られた。

「太守の秘宝」とは、「魂の水晶球」「生命の杖」「真実の鏡」「知識の額冠」「支配の王錫」の5つのアイテムのことである。これら「太守の秘宝」は、かつてロードスを含む世界全体を支配していた古代の魔法王国カストゥールの時代に作られたものであり、それぞれ強大な魔力が秘められている。この古代王国が崩壊する際、ロードスにおける最後の太守サルバーンは、「太守の秘宝」を「五色の魔竜」と呼ばれる5匹のドラゴンたちに制約(ギアス)の魔法をかけて、守らせるようにした。

●魂の水晶球

水竜「エイブラ」が守っていた、死者を蘇らせる魔力を秘めた水晶球。この「魂の水晶球」と「生命の杖」は、「太守の秘宝」のうち「祭器」と呼ばれるものである。

●生命の杖

生命にかかわる重傷のほか、毒や病気、石化など身体のあらゆる異常を一瞬のうちに癒(いや)す魔力を秘めた杖。金鱗の竜王「マイセン」によって守られていた。

(ロードスへの道)

太守の秘宝とは

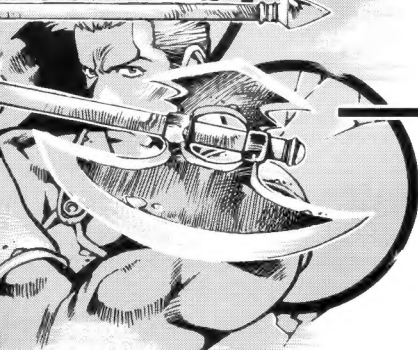
スパークたちが追いかけている「魂の水晶球」は、「太守の秘宝」と呼ばれるものの1つ。この絶大な力をもつ「太守の秘宝」は、はるか昔から存在していたのだ。

冒険者たちの武器

(ロードスへの道)

ロードスの世界の冒険者たちが使っている武器には、様々な種類がある。それらの武器のうち、ここでは、スパークたちの武器を例にとって解説しよう。

槍(スピア)

槍は、剣や斧などに比べて間合いを遠くにとることができる。貫通力もあるので、鎧を着た相手にも有効。リーフの持つショートスピアは、投げて使用することもできる。

斧(アックス)

斧には、ハンドアックスやトマホーク、グレートアックスなどの種類がある。ギャラックが使っているバトルアックスは、かなりの打撃力をもつ。木を切ったり、ドアを壊したり、ロープを切ったりと様々な使い道があるのも特徴。

剣（ソード）

剣には、ショートソード、ブロードソード、バスタードソード、グレートソードなど様々な種類がある。このうち、スパークの持っているバスタードソードは、盾を持つ時は片手で、力を込めて使いたい時は両手と、状況に合わせて使いこなすことができるのだ。

鉾槍（ハルバード）

グリーバスの使っているハルバードは、斧と槍の両方の特徴を兼ね備えた武器である。すなわち、ハルバード一つで「叩く」「突く」攻撃が可能となる。ただし、かなりの重量があるので、使いこなすには相当の腕力が必要。

(ロードスへの道)

伝説の武具

ロードスの世界には、強力な力をもった武器や鎧が存在する。その中でも特に有名な魔剣「ソウルクラッシュ」と「聖なる武具」について解説しよう。

●ソウルクラッシュ

相手の肉体だけでなく、精神までも切り裂くことのできる剣。そのため、ソウルクラッシュ（魂砕き）の名がついた。この剣によって傷を受けた者は、魂すら消滅し、いかなる手段を用いても、生き返らせることはできない。また、この剣は相手の生気を吸い取るため、その所有者は若さを失わないという。英雄戦争時にはベルドがこの剣を携え、現在はベルドの遺志を継ぐアシュラムが所有している。

●聖なる武具

かつてヴァリスの建国王アスナームが身につけていた「法の剣」「光の楯」「正義の鎧」の3つの武具を指す。「法の剣」は邪悪を滅ぼし、「光の楯」はあらゆる攻撃を弾き返し、さらに「正義の鎧」は、いかなる攻撃を受けても傷ひとつつかないと言われている。これら剣、楯、鎧のすべてが白い色で統一されていたため、この武具を着込んで戦ったヴァリス国王ファーンは「白き王」の名で呼ばれることになった。